

県北管内感染症ニュースレター

令和8年度 第5号

手足口病が警報レベルで流行しています！

長期休暇には、人の移動や集まる機会が増え、感染症にかかるリスクも高まります。手足口病など夏風邪の他、近年夏期に増加傾向がみられる新型コロナウイルス感染症も注意が必要です。今回は、夏に流行する感染症とその予防について紹介します。

夏に流行する感染症を紹介します



	原因ウイルス	症状	特徴
ヘルパンギーナ  県北管内で流行中！	主に コクサッキーウイルス 【感染経路】 飛沫、接触、 噴口感染	・発熱（高熱） ・喉奥に小さな水疱 ・のどの痛み ・食欲不振 ・頭痛	・5歳以下に好発（患者の90%以上） ・県内では7～8月にかけて増加 ・ 症状が消失した後も、長期にわたりウイルスが便に排出される
手足口病  県北管内で警報レベルの流行！	コクサッキーウイルス エンテロウイルス 【感染経路】 飛沫、接触、 噴口感染	・発熱 （ほとんどが38℃以下） ・米粒大の水疱性発疹 （手のひら、足裏や甲、 口の中）	・2歳以下に好発（患者の半数以上） ・県内では7～9月にかけて増加 ・ 症状が消失した後も、長期にわたりウイルスが便に排出される
咽頭結膜熱 （プール熱） 	アデノウイルス 【感染経路】 飛沫、接触感染	・発熱（高熱） ・扁桃腺の腫れ ・のどの痛み ・目の充血、目やに （結膜炎症状） ・腹痛や下痢 ・首リンパ節の腫脹	・小児に好発 ・7～8月にかけて増加
新型コロナウイルス 感染症  県内で増加中！	新型コロナウイルス 【感染経路】 エアロゾル、飛沫、 接触感染	・発熱 ・のどの痛み ・咳、痰、鼻水 ・全身倦怠感	・夏季と冬季に患者が増加する ・ 県内の夏季の流行状況は、8～9月にかけて増加 ・無症状の感染者も人にうつす リスクがある

夏風邪（ヘルパンギーナ・手足口病・咽頭結膜熱）は**特効薬がなく、対症療法のみ**となります。基本的には、数日で熱が下がり、症状は落ち着いてきますが、症状が長引く場合や悪化した場合は、受診しましょう。

感染症を予防するには？

★基本的な感染対策を心がけましょう！



出典：厚生労働省 感染対策のポイント

★免疫力を高めましょう！（十分な睡眠・栄養バランスの良い食事・適度な運動）

★感染者との密接な接触を避けましょう！（タオルや食器などは共有しない）

※ヘルパンギーナや手足口病では、症状が消失した後も長期にわたり、便からウイルスが排泄されます。**おむつを交換した後は、しっかり手を洗いましょう。**

■ 洗い残しの多いところ
■ やや洗い残しの多いところ



洗い残しの多いところは
指先・指の間・手首です。
しっかり洗いましょう！



新型コロナウイルス
には、**アルコール**
による手指消毒が
有効です。

海外への渡航を予定している方へ

渡航先や帰国後に、国内ではかかりにくい感染症を発症することもあります。

海外で注意すべき感染症について、**厚生労働省検疫所「海外で健康に過ごすために（FORTH）」**のホームページ等を渡航前によくご確認ください。

※ワクチン接種で予防が期待できる感染症もあります。最低でも**渡航の2週間前まで**には、かかりつけ医などに相談し、ワクチン接種を検討してください。

帰国時、帰宅後に体調が悪くなった方へ

帰国時、症状や心配なことがあれば、空港内の検疫所へご相談ください。

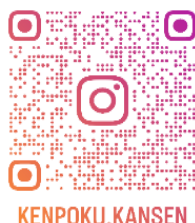
帰宅後しばらくして具合が悪くなった場合は、渡航歴や症状等を医療機関へ**事前に相談し、受診してください。**

医療機関の皆様へ

渡航歴のある方などから有症状の相談があった場合は、**診察前に保健所へご連絡ください。**



インスタフォロー
お願いします！



KENPOKU.KANSEN

発行日：令和 8年 7月 21日

発行元：福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113